



私たちの日常の
コミュニケーションや関係のあり方、
対話や集団のちがひを見つめ直します。

オープンダイアログと新しい対話の文化のために(も) 反想法(リフレクティング)の活用を 日常のなかで考える

2019 11月30日 土

10:00~18:00頃

会場／指定障害者支援施設 メイプルカーデデン

東京都中野区中野5-26-18

◆会 費／一般 5000円

日本臨床心理学会会員 3500円

学生 3500円

※参加費支払いに困難な方は、相談にのることがあります

◆定 員／約20名

◆懇親会／終了後、近辺で予定しています

※会場、会費は別途ご案内します

トム・ア

ンデルセンが家族療法に取
り入れ、オープンダイアログにも活か
されている反想法。これには、社会構成主義
が反映されています。現実や意味は、応答の繰り返し
で創られていくことを感じ合い、思い込み、決め付
け、身動きがとれないような個人の物語を問い直し、新し
い対話、新しい関係を模索していきましょう。

問題は、個人の中ではなく関係の間(あいだ)で起きている。
アウグスト・ボアルのフォーラム・シアターは、そうした問
題を再現しながら、その解消策を探していく試みです。

ここでは、個人の言葉に響き応答する集団の動きが問題
解消の資源になります。メンバーの遊び心と多様な世
界観に、凝り固まった物語や常識・規範までも相
対化されていく。その中には、日常にも取り入
れられよう努力を共に見つめてい
きましょう。

◆ファシリテーター/ジョーカー：いさく こと 滝野功久

・立命館大学院元教授(応用人間科学研究科臨床心理学コース専任教員)

・パリ第五大学院学術博士(人文科学)

◆主催：東京オープンダイアログ/リフレクティング研究会

Opendialogue/Reflecting Study Group

◆後援：日本臨床心理学会